

日本住宅会議 2015 年度総会

憲法・戦争、居住の権利

戦後70年の今年、安倍内閣は、戦後日本の基本的スタンスを逆転させ、「平和法案」の名のもとに戦争法案を成立させました。憲法に違反する集団的自衛権の行使は、わが国を戦争に巻き込む危険をもたらします。海外での戦争への参画は、国内でも暮らしや住まいの生活部面でのさまざまな問題を引き起こします。すでに現状でも、貧富の格差の進行、若者の失業や住まいの喪失、貧困高齢者の生活難など、問題は山積しており、その解決を求めるとともに、戦争に反対し、国民生活の向上を目指す活動がさらにいっそう望まれます。

総会・シンポジウムでは、「憲法・戦争、居住の権利」をテーマとして、こうした問題を考えていきたいと思えます。

日時 2015年12月12日(土) 13時～17時

会場 東京大学法文1号館
113教室

〒113-0033
東京都文京区本郷7-3-1
(正門から安田講堂に向かって
左手の建物)



参加費

会員・学生 500円
非会員 1000円

プログラム

13:00～13:30 総会

13:40～17:00

シンポジウム「憲法・戦争、居住の権利」

基調講演「憲法と住宅」

木村草太 (首都大学東京准教授)

講演「戦争と住宅」

祐成保志 (東京大学准教授)

パネルディスカッション

コメンテーター：中島明子 (和洋女子大学教授)

パネリスト：木村草太

祐成保志

コーディネーター：塩崎賢明 (住宅会議理事長)